

令和6年度 安曇野市立穂高東中学校グランドデザイン

安曇野市が目指す子ども像

からだを動かし、頭で考え、心に感ずる “未来を拓くたくましい安曇野の子ども”

学校教育目標

自ら学ぶ 共に学ぶ 人から学ぶ



《 学校づくりの理念 》

穂高東中学校は、全職員で、生徒・保護者・地域の皆さんと力を合わせ、互いの考えを尊重し友と交流するプロセスを重視する授業や活動を通して、自己肯定感（自分に良いところがある）、自己有用感（自分は役に立っている）、自己効力感（自分もできる）を高め、学び合い、認め合い、高め合う自律した学習者を育てる学校とするべく取組を進めます。

めざす学校像：自他の良さを認め、協働しながら自分を生かす力を育む学校

めざす教師像：自らも学び、生徒を受容し、良さを認め、可能性を拓く教師

めざす生徒像：自他の良さを認め、人を思いやり、互いに学び合える生徒
筋道を立てて考え、考えたことを表現し行動に移せる生徒
視野を広げ、自立心を持ってよりよく生きようとする生徒

教育課題：やらされる から“取り組む”へ

重点1 学びづくり

授業における明確なねらいと振り返りを重視し、考えを書いて説明したり質問したりする場面を設けて、協働的な学びに向かう授業改善を図る。

重点2 集団づくり

生徒の良さを認め、人権学習や生徒会活動等を核として、リーダーとフォロワーを意識した認め合い支え合う人間関係づくりを図る。

重点3 地域との関わりづくり

地域の環境や人材を生かし、地域に学ぶ活動を通して、穂高の良さを理解し誇りに思ったり、働きかけたりしようとする心の醸成を図る。

＜令和6年度の具体的な取組み＞ 安曇野市 ICT 推進校、中信地区および穂高地域人権教育推進校、中信地区学校図書館研究校

取組の柱1（学びづくり）

R6テーマ「自ら考え、自ら学び、共に高め合うことができる生徒の育成」

- ・生徒の興味や関心、疑問を基にした授業づくりに努めます。
- ・生徒が互いの考えを知り合う場面を設けます。
- ・情報端末等 ICT 機器を活用し、考えを発信したり共有したりする学習活動を継続します。
- ・自ら取り組む家庭自主学習が充実するための方策を講じます。
- ・職員が互いの授業から学び合うため、「自由参観週間」「授業改善研修会」「月1教科会」「教科別スライドセッション」を実施します。

取組の柱2（集団づくり）

R6テーマ「生徒会が学校を創る」 生徒会スローガン

- 「Let's ～さらに上への挑戦～」
- ・生徒による主体的な活動を充実させていきます。
→「東中のZERO」活動の充実
→校外生徒会を核とした自主的な交通マナーの向上
→主体的な意見交流の場（生徒総会、ポスターセッション方式の発表、ビブリオバトル等）の設定
 - ・年2回の重点月間を設け、人権教育を推進します。
 - ・互いを認め合う受容的な学級づくりを進めます。

取組の柱3（地域との関わりづくり）

R6テーマ「地域と連携し、地域のひと・もの・こと から学ぶ」

- ・「ふるさと穂高に学ぶ」を主旨とした総合的な学習の時間を各学年テーマに沿って展開します。
- ・地域の職場体験学習、地域と連携した防災学習、放課後学習教室等に取り組めます。
- ・学校、学年、学級便り、HPにより生徒の取組を発信します。
- ・年4回の授業参観日を実施します。
- ・学校自己評価アンケート結果や学校運営協議会での意見をもとに取組の検証を行います。

取組の柱4（生徒理解）R6テーマ「生徒が『私は大切にされている！』と実感する学校」

- ・生徒の意見表明の場を保障します。
- ・生徒の人権を尊重した指導、支援にあたります。
- ・年2回の生徒相談週間、各学期で「いじめ・体罰アンケート」を実施し、生徒の声に耳を傾けます。
- ・QU等の検査によるアセスメントを図ります。
- ・年2回の人権教育月間を設け、尊厳を保障する生活のあり方を考えます。
- ・校内中間教室の活用、加配教員による支援、SCによる相談を実施します。
- ・関係諸機関と連携して課題解決を図ります。
- ・情報モラル講演会を実施します。